「医薬品安定供給のための取り組みについて」

1. 後発医薬品の積極的な使用

- ◇後発医薬品の品質、安全性、安定供給体制等の情報を収集・評価し、その結果を踏まえ、後発医薬品の使用を決定する体制が整備されています。
- ◇医薬品の供給状況によって投与する薬剤を変更する可能性があります、その際には、担当医、薬剤師から説明します。
- ◇医薬品の供給が不足等した場合に、治療計画等の見直しを行う等適切に対応する体制を整えています。

2. 一般名処方への推進

- ◇安定的に薬物治療を提供する観点から、一般名処方を推進することにより、保険薬局において銘柄によらず調剤でき、柔軟に対応することができます。

【一般名処方とは】

お薬の「商品名」ではなく「有効成分」を処方箋に記載する事です。

現在、医薬品の供給が不安定な状況が続いており、「一般名処方」とすることで供給不測のお薬であっても、有効成分が同じ複数のお薬を選択できるため、患者様に必要なお薬が提供しやすくなります。